

平成 25 年 度

# 事 業 報 告 書

社会福祉法人 札 幌 厚 生 会

白 石 福 祉 園

## 実施機関別人員調（措置人員）

(H26. 3. 31 現在)

各市別人員				各支庁別人員			
実施機関名	男	女	計	実施機関名	男	女	計
札幌市	20	9	29	後志総合振興局	3	3	6
小樽市	1	3	4	空知総合振興局	1	1	2
旭川市	2	3	5	上川総合振興局	1	3	4
室蘭市	0	1	1	留萌振興局	0	1	1
釧路市	1	0	1	オホーツク総合振興局	0	2	2
北見市	0	2	2	胆振総合振興局	1	1	2
夕張市	1	1	2	日高振興局	0	2	2
岩見沢市	0	1	1	十勝総合振興局	1	3	4
紋別市	1	0	1	根室振興局	0	1	1
美唄市	1	1	2	石狩振興局	1	0	1
三笠市	2	3	5	釧路総合振興局	1	0	1
名寄市	4	6	10				
富良野市	0	2	2				
帯広市	1	0	1				
千歳市	3	0	3				
稚内市	1	0	1				
石狩市	0	1	1				
江別市	1	0	1				
				小計(人)	9	17	26
小計(人)	39	33	72	合計(人)	48	50	98

## 施 設 の 概 要

1	施設の名称	白 石 福 祉 園
2	所 在 地	札幌市白石区川北 2272 番地 8
3	施設の種類	生活保護法による救護施設
4	設 置 主 体	社会福祉法人札幌厚生会
5	経 営 主 体	同 上
6	設立年月日	昭和 29 年 12 月 14 日
7	創 立 者	助 川 貞 利
8	理 事 長	上瀬戸 正 則
9	施 設 長	家 久 雅 博
10	入 所 定 員	100 名
11	職 員 構 成	施設長：1 事務員：2 主任生活指導員：1 介護職員：17 看護師：2 栄養士：1 調理員：4 介助員：1 医師(2)嘱託 計 29(2)名
12	移 転 改 築	平成 6 年 3 月 10 日（白石区川北に移築）
13	敷 地 面 積	5, 0 4 3 m <sup>2</sup> （札幌市貸与）
14	建 物 面 積	2, 8 8 1. 8 3 m <sup>2</sup> （札幌厚生会）
15	施設の沿革	

昭和 29 年 8 月札幌市において、天皇、皇后両陛下を迎えて北海道国民体育大会が開催されたが、この機会に札幌駅及び市内に散在する浮浪者ならびに一時保護者を桑園駅前にある元市営市場事務所を使用、収容したのが始まりである。その後、閉鎖するに当たり、帰住先のない人や他施設への収容替えが不可能な身体的、精神的に障がいがあり、独立して日常生活ができない人が 30 名程おり、この人々のため施設の設置を札幌市と協議し、現在の白石区平和通 5 丁目に市所有地 7,260 m<sup>2</sup>の無償貸与を受け、共同募金配分、寄付金により 280.5 m<sup>2</sup>の園舎を建築し事業を開始した。

利用者の激増により、昭和 30 年、32 年、38 年度道費補助により増築、定員 150 名となったが、平成 3 年度法人の利用者調整により定員 100 名となる。

平成 5 年 6 月には、市有地 5,045 m<sup>2</sup>の無償貸与を受け、永年の計画であった老朽整備による建替が行われ、平成 6 年 3 月 10 日完成（3/21 移転）し現在に至る。

施設機能の強化面においては、「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」に基づき、平成 27 年度までの各種事業の取り組むべき計画の中から、当初の予定どおり 9 月から利用者 3 名による「居宅生活訓練事業」をスタートさせることとなった。

# 総 括

## はじめに

救護施設の利用者支援にあつては、近年、高齢化と障がいの重度化が進む状況のなか、地域でのセーフティネット機能強化が叫ばれる中、施設内における日常生活自立を目標としたものから、個別支援計画の策定・実践の取組から、居宅生活に向けた地域生活移行支援への取組に重点が置かれるようになってきました。

特に本年度は、生活保護制度の抜本的見直し、生活保護支給基準額の改定等の動きと、生活困窮者自立支援法の制定は、第2のセーフティネットとして、地域における経済的困窮者や社会的孤立者の支援に向けた総合的政策に対しても、永年培ってきた救護施設のもつノウ・ハウを発揮できる場を、あらゆる関係先との連携を密にして、救護施設として積極的に見出していかなければなりません。

1. これらの状況下における本年度の事業では、新規事業となる「居宅生活訓練事業」の実施がまず可能かどうかを検討した上で、事業対象者として可能と思われる11名に対して説明とともに意識調査を行いました。その結果、5名の希望者を確認できたことから9月から実施するに至りました。但し、当面の生活支援体制が確立するまで、うち2名を次期待機者として3名からの（男子2名・女子1名）実施となりました。この7か月間、交通機関の利用、こずかい管理、買い物に食事実習など、居宅生活への自立に向けた各種訓練を行い、各自の努力とともに順調に推移し新年度を迎えることになりました。
2. 職員処遇面における取組においては、法人主導のもと給与改善に取り組みました。本年度では副主任以上の役職者の給与を大幅に改定し、一般職員の給与改善については26年4月からの実施に向けて作業を進めました。更には、就業規則をはじめ各種の規程類の見直し作業にも取り組みました。
3. 施設の資金運営管理面においては、毎年予想外に発生する施設設備の老朽化に伴う各種の改修関係費用も、前述の新規事業の実施における施設事務費支弁基準額の加算と併せ、各種事業経費の見直し（契約等含め）並びに冗費の節減に全体で対応致しました。利用者への生活支援サービス及び職員処遇の低下を来すことなく運営が行えて、当初の法人会計への繰入や施設整備等積立金に、予定以上を計上することができました。
4. 利用者の日常生活面における支援では、基本的人権を侵害することなく個人の尊厳を遵守する目的で、10月に身体拘束廃止委員会（施設内における委員会は7構成となる）を設置し、身体拘束廃止マニュアルの作成と職員周知への取組と併せ、関係医師及び家族への協力依頼を行いました。
5. 以上の他、年度計画に掲げた重点目標7課題については、次のとおりであります。
  - 1) 利用者の年齢及び心身の状態からして、地域生活移行には困難な方々に対しては、個別支援計画に基づき施設内生活での自立を目指し、日々充実した生活が過ごせるよう各種行事の実施と環境づくりを進めました。
  - 2) 利用者の健康管理面に於いては、保健衛生委員会主導により感染症予防対策を徹底し、本年度も発症者を出すことなく、更にはインシデント・レポートによる課題についても、ヒヤリ・ハット対策委員会に於いて解決を図り一年を過ごすことができました。
  - 3) 新規入所者が今年度も依頼件数が少なく、昨年度より0.5名下回り96.8名の実績となり目標である定員維持には至りませんでした。前述のとおり効率的な資金運営ができました。
  - 4) 各種の内外での研修・会議への参加も計画とおり実施でき、また、他の施設との派遣研修（実務研修）も効果を上げることができました。
  - 5) 安全・安心な食材確保と食事の提供により、利用者の健康管理と衛生管理を、保健衛生委員会主導により進めました。
  - 6) 施設運営にあつては、地域及び関係機関・団体との協力・連携が重要であることから、本年度も例年同様に各種事業を推進致しました。
  - 7) 予測不能の、過去に類を見ない自然災害が度々発生したことから、防火管理者主導により、より緻密な防災訓練計画の策定と実践を行い、利用者生活の安全・安心な生活環境を作り上げることができました。

以上、平成25年度事業を振り返ると、社会福祉を取り巻く環境が依然として厳しさを増している状況下の中、救護施設としての地域における役割は益々求められることとなりましたが、利用者が安心して日々の生活ができるよう、個別支援計画に基づく処遇の実践を進め、職員並びに利用者の協力のもとに各種事業を実践できたものと考えます。

## 6. 各種委員会活動の取り組み

### (1) ヒヤリ・ハット委員会

昨年度に引き続き、まず第一にインシデントレポートの提出（報告）を進め、施設内には多くのリスクがあるということ職員個々が再認識することの重要性を理解してもらうことを進めて参りました。その報告から見えてきたこととして、多くの報告が転倒や誤薬等によるものであります。このことから、大きな事故へつながる前の段階で対策の検討ができたものと感じております。利用者個人にあった車椅子や補装具の作成、居室替えやベッド購入、誤薬防止への確認作業の検討等を進めることが出来ました。今後も施設内に潜在する細やかなリスクを未然に発見、防止できるように進めていくことを念頭に置き、取り組んで参りたいと思います。

### (2) メンタルヘルスケア委員会

日常生活の環境の変化と人間関係の複雑化によりストレスを抱え、悩みを持つ人たちが社会では急増しています。現代病とも言われるうつ病も複雑化していて専門医でも治療に苦慮しているということを目にします。職員のメンタル面での環境整備を施設運営上においても、個人の問題だけに片付けることなく、組織的な取組が必要であることから委員会として、外部団体で開催されている交流事業への案内を積極的に回覧し、気分転換の出来る場の周知を積極的に行いました。今年度は、職員同士の交流の場を時間外に設けチームワークの確立を図っていきたくと考えております。

### (3) 評価基準委員会

今年度は、平成18年度に策定した施設の基本理念・基本方針の主旨等を再認識するにどまりました。今後は、職員個々があらためてそれぞれの立場と役割を自覚するように機会を設けることとし、社会問題ともなっている利用者の虐待についての理解を深めるため、虐待防止チェックリストの活用を委員会として進めていかななくてはならないものと考えております。具体的にはまだ進んでおりませんが、施設内独自評価と第三者評価への取り組みは、救護施設の求められている機能の強化と職員資質の向上のための必要不可欠となってきていることからまずは意識付けから進めて参りたいと考えております。

### (4) 保健衛生委員会

例年ではありますが、委員会としてノロウイルス・インフルエンザ等の感染症の対策を中心に施設内の消毒を進めてきた結果、今年度はそのような感染症が発生することなく、利用者の安心した生活を守ることが出来たと感じております。委員長が看護師ということもあり、医務室が中心として、施設利用者の中でも高齢者に限ってはおりますが、肺炎球菌ワクチンの接種も進めて参りました。今年度においても同様に進めて参りたいと考えております。

### (5) 施設内研修委員会

昨年に引き続き普通救命講習の実施を行い、職員の救命意識向上・AEDの操作の理解を深めて参りました。また、AED設置に伴い、白石消防署よりさっぽろ救急サポーターとして応急手当協力施設の証を頂き、地域住民の緊急事態に協力・貢献出来るような体制を継続してとっていきたくと考えております。今後は、一昨年度に虐待をテーマとした施設内研修を実施しましたが、同様に福祉施設職員としての意識向上に向けた施設内研修の実施を検討して参ります。

### (6) 身体拘束廃止委員会

福祉施設において利用者の身体拘束が社会問題化している中で、当施設においても10月1日付で委員会を発足し、基本方針を始め、身体拘束の定義や問題点等を数回の委員会で協議し、そのことを記載したマニュアルの作成を行いました。また、やむを得ない場合の対応として、親族からの同意書の取得や記録作成等の進め方についても確認を行って参りました。今後も委員会での確認・検討を進め、職員の身体拘束についての意識向上を図り、利用者に安心した生活を送って頂くよう心掛けていきたくと考えております。

# 平成25年度事業実施報告

## 1. 職員の教育訓練

<各種大会・研修会・研究会参加>

- |  |            |          |
|--|------------|----------|
| ○第17回北海道抑制廃止研究会<br>山崎彩・松本梨                   | 6月1日       | 札幌市      |
| ○第43回全道救護施設職員研修会<br>家久園長・向後・嶋田・馬場・渡邊・鈴木裕・澤田石 | 6月13日～14日  | 滝川市・歌志内市 |
| ○歌志内市親愛の家職員相互実習研修<br>西塚・栗生                   | 7月30日～8月1日 | 歌志内市     |
| ○介護職員専門研修Ⅱ<br>反保                             | 8月8日～9日    | 札幌市      |
| ○新任相談員研修<br>鈴木俊                              | 8月29日～30日  | 札幌市      |
| ○救護施設白鳥ホーム視察研修<br>家久園長・鈴木俊・糸田・松本梨            | 9月5日～6日    | 青森県      |
| ○第37回全国救護施設研究協議大会<br>家久園長・向後・盛・原田            | 10月3日～4日   | 兵庫県      |
| ○救護施設研究セミナー<br>家久園長・佐藤元・松浦・阿部・堀井・佐藤ヒ・田村      | 10月15日～16日 | 札幌市      |
| ○救護施設福祉サービス研修会<br>廣川・工藤                      | 11月14日～15日 | 東京都      |
| ○栄養士専門研修<br>松井                               | 11月21日～22日 | 札幌市      |

## 2. 職員の配置状況

(26. 3. 31現在)

	施設 長	事務 員	主任 指導 員	指 導 員	寮 母	看 護 師	栄 養 士	調 理 員	介 助 員	医 師	そ の 他	計 (人)
定員	1	2	1	0	17	1	1	4 (1)	1	(1)	0	28 (2)
現員	1	2	1	0	17 (2)	2	1	4 (0)	1	(2)	0 (7)	29 (11)
過不足	0	0	0	0	0 (2)	1	0	0 (-1)	0	(1)	0 (7)	1 (8)

※ 医師の（ ）内は、内科1名、精神科1名の嘱託医師

※ 寮母の現員の（ ）の人数は非常勤職員2名

※ その他は、洗濯員2名、巡視員2名、調理補助員3名

## 3. 平成25年度 職員人事異動

(26. 3. 31現在)

氏名	職名	発令区分			備考
		就任	退任	異動	
鈴木俊介	指導員	25. 4. 1			新規採用
中山実	作業指導係長		25. 4. 30		定年退職
反保玉恵	介護職員			26. 3. 31	札幌市あけぼの荘へ

#### 4. 年度の動き

要 項	年 月 日	記	事
1. 監 査 等	2 5 . 5 . 9	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他 2 名
	2 5 . 7 . 3 1	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他 2 名
	2 5 . 1 0 . 3 0	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他 3 名
	2 6 . 1 . 3 1	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他 2 名
	2 6 . 2 . 5	札幌厚生会法人監事監査	家久園長他 3 名
2. 札幌厚生会 理事会・評議員会等 施設長会議	2 5 . 4 . 1 6	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	2 5 . 5 . 1 5	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	2 5 . 5 . 2 3	札幌厚生会理事会・評議員会	家久園長
	2 5 . 6 . 2 7	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	2 5 . 7 . 3 0	札幌厚生会施設長会議	家久園長他 1 名
	2 5 . 9 . 1 1	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	2 5 . 1 0 . 2 5	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	2 5 . 1 1 . 2 9	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	2 5 . 1 2 . 6	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	2 5 . 1 2 . 1 3	札幌厚生会理事会・評議員会	家久園長
	2 5 . 1 2 . 2 4	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	2 6 . 1 . 1 7	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	2 6 . 2 . 1 9	札幌厚生会施設長会議	家久園長
	2 6 . 3 . 1 9	札幌厚生会施設長会議	家久園長
2 6 . 3 . 2 6	札幌厚生会理事会・評議員会	家久園長	
3. 会 議 等 (1) 官 公 署 (2) 社 協 他 関係諸団体  (3) 部 内	2 5 . 4 . 1 8	札幌市保健福祉局保護指導課との施設長・事務長会議	家久園長他 1 名
	2 5 . 4 . 2 2~2 3	全国救護施設協議会理事会・総会・施設長会議（東京都）	家久園長
	2 5 . 5 . 2 7	札幌救護施設協議会正副会長会議	家久園長
	2 5 . 5 . 3 1	札幌市社会福祉協議会 評議員会	家久園長
	2 5 . 6 . 1 4	北海道救護施設協議会役員会	家久園長
	2 5 . 7 . 3	救護施設・相談担当合同会議（ホームレス対応打合せ等）	佐藤元・鈴木俊
	2 5 . 1 1 . 6	札幌市社会福祉協議会 評議員会	家久園長
	2 6 . 1 . 2 1	札幌市洪水時の避難に関する説明会	向後
	2 6 . 1 . 2 3	北海道救護施設協議会総会	家久園長
	2 6 . 1 . 3 0	白石区内の精神病院及び関係施設、事業所等の情報交換会	向後・佐藤元
	2 6 . 2 . 1 8	社会福祉施設部会協議員会	家久園長
	2 6 . 3 . 2 5	札幌市社会福祉協議会 評議員会	家久園長
	2 5 . 4 . 6	処遇会議（行事反省及び確認・入所検討・大腸胃がん検診他）	
	2 5 . 4 . 1 2	個別支援計画検討会（多債務者の破産手続き）	
	2 5 . 4 . 1 9	処遇会議（行事反省及び確認・入所検討・腹部エコー他）	
	2 5 . 4 . 3 0	処遇会議（行事反省及び確認・入所検討・個別支援・夏祭り他）	



要 項	年 月 日	記 事
	25. 4. 26	定例職員会議5月分(行事予定・研修計画・褒賞休暇・生活困窮者支援について他)
	25. 5. 9	個別支援計画検討会(利用者の希望要望)
	25. 5. 17	処遇会議(行事反省及び確認・入所検討・避難訓練・居宅訓練他)
	25. 5. 24	個別支援計画検討会(利用者の希望要望)
	25. 5. 30	定例職員会議6月分(行事予定・平成24年事業報告・健康雇用保険・むつみ会アンケート他)
	25. 5. 31	処遇会議(行事反省及び確認・個別支援・夏祭り他)
	25. 6. 7	個別支援計画検討会(利用者の希望要望)
	25. 6. 14	処遇会議(行事反省及び確認・夏祭り他)
	25. 6. 21	個別支援計画検討会(利用者の希望要望)
	25. 6. 24	定例職員会議7月分(行事予定・生活扶助費の減額・研修報告・居宅生活訓練事業進捗状況他)
	25. 6. 28	処遇会議(行事反省及び確認・一泊レク・乳房検診他)
	25. 7. 5	個別支援計画検討会(利用者の希望要望)
	25. 7. 12	処遇会議(行事反省及び確認・個別支援計画・乳がん検診他)
	25. 7. 19	個別支援計画検討会(利用者の希望要望)
	25. 7. 26	処遇会議(行事反省及び確認・入所検討他)
	25. 7. 29	定例職員会議8月分(行事予定・職員関係・研修報告・生活扶助費の減額・腰痛検診他)
	25. 8. 2	個別支援計画検討会(利用者の希望要望)
	25. 8. 9	処遇会議(行事反省及び確認・入所検討他)
	25. 8. 16	個別支援計画検討会(利用者の希望要望)
	25. 8. 23	処遇会議(行事反省及び確認・入所検討他)
	25. 8. 26	定例職員会議9月分(行事予定・研修報告・身体拘束廃止委員会発足他)
	25. 8. 30	個別支援計画検討会(利用者の希望要望)
	25. 9. 6	処遇会議(行事反省及び確認・退院予定利用者対応検討他)
	25. 9. 20	処遇会議(行事反省及び確認・個別支援計画他)
	25. 9. 27	個別支援計画検討会(利用者の実施状況報告)
	25. 9. 30	定例職員会議10月分(行事予定・研修報告・最低賃金の変更他)
	25. 10. 11	処遇会議(行事反省及び確認・開設記念行事他)
	25. 10. 18	個別支援計画検討会(利用者の実施状況報告・ニーズ整理確認)
	25. 10. 25	処遇会議(行事反省及び確認・開設記念行事他)
	25. 10. 31	定例職員会議11月分(行事予定・研修報告・寒冷地手当・次年度開設記念アンケート他)
	25. 11. 8	処遇会議(行事反省及び確認・入所検討他)
	25. 11. 15	個別支援計画検討会(利用者の実施状況報告・計画記入方法の確認)
	25. 11. 22	処遇会議(行事反省及び確認・入所検討・個別支援計画他)
	25. 11. 25	定例職員会議12月分(行事予定・研修報告・補正予算案・社会保険料率・開設記念行事報告他)
	25. 11. 29	個別支援計画検討会(利用者の実施状況報告・計画記入方法の確認)
	25. 12. 6	処遇会議(行事反省及び確認・入所検討・転倒リスク他)
	25. 12. 13	個別支援計画検討会(利用者の実施状況報告・計画記入方法の確認)

要 項	年 月 日	記 事
	25. 12. 17	臨時職員会議（各種諸規定の改正説明・産前産後休暇及び宿直手当の廃止の質問への回答）
	25. 12. 20	処遇会議（行事反省及び確認・年末年始行事他）
	25. 12. 27	定例職員会議1月分（次年度開設記念行事アンケート集計報告・行事予定・研修報告・節電協力依頼他）
	25. 12. 30	処遇会議（行事反省及び確認・入所検討他）
	26. 1. 10	処遇会議（行事反省及び確認・入所検討等）
	26. 1. 17	個別支援計画検討会（利用者の実施状況報告・計画記入方法の確認）
	26. 1. 24	処遇会議（行事反省及び確認・園内ゲーム大会・入所検討等）
	26. 1. 30	定例職員会議2月分（行事予定・研修報告・次年度開設記念行事・社会保険料率他）
	26. 1. 31	個別支援計画検討会（利用者の実施状況報告・計画記入方法の確認）
	26. 2. 7	処遇会議（行事反省及び確認・入所検討・身体拘束・次年度開設記念行事他）
	26. 2. 14	処遇会議（行事反省及び確認・新年度レク検討他）
	26. 2. 21	処遇会議（行事反省及び確認・入所検討・次年度合同行事他）
	26. 2. 27	定例職員会議3月分（行事予定・人事関係・介護保険料率の変更・年間措置人員予定他）
	26. 2. 28	処遇会議（行事反省及び確認・入所検討等）
	26. 3. 7	個別支援計画検討会（利用者の実施状況報告・計画記入方法の確認）
	26. 3. 14	処遇会議（行事反省及び確認・担当割・クラブ予算関係他）
	26. 3. 28	処遇会議（行事反省及び確認・葬儀対応確認・居宅訓練事業他）
	26. 3. 31	定例職員会議4月分（行事予定・度事業計画・事業補正予算・生活扶助費の変更他）
4. 研 修 説明会等 (教育訓練・上記記載以外)	25. 4. 17	札幌白石区防火管理者協議会総会 中山・向後
	25. 4. 26	札幌白石区危険物安全協議会総会 中山・向後
	25. 4. 26	北海道民間社会福祉事業職員共済会実行委員会 山崎
	25. 6. 11	危険物取扱者保安講習 向後
	25. 7. 2	救護施設研究セミナー実行委員会 中山・平山
	25. 7. 17	ニューパワー全体セミナー 鈴木裕・澤田石
	25. 7. 18	北海道民間社会福祉事業職員共済会業務説明会 山崎
	25. 7. 29	地域定着支援事業推進会議 佐藤元
	25. 11. 22	年末調整講習会（プロテック） 松浦
	25. 11. 22	社会福祉協議会法人役員研修 家久園長
	25. 12. 2	施設内研修（普通救命講習3時間） 10名参加
	26. 2. 5	生活困窮者自立支援促進事業シンポジウム 家久園長・向後
5. 来 訪	25. 6. 29	夏祭りボランティア（白石区社協・白石高等学校） 22名来園
(1) 視察・見学	25. 11. 7	第59回開設記念行事ボランティア（町内会+白石区社協+学生） 19名来園
ボランティア	25. 11. 7	第59回開設記念行事来客者 177名来園
(2) 実態調査	25. 5. 21	中央区 竹重 主事・高橋ホームレス相談員 (対象者 1名)
	25. 5. 22	白石区 白川 主事 (対象者 5名)
	25. 6. 25	夕張市 平塚 主幹 (対象者 2名)
	25. 7. 4	白石区 白川 主事 (対象者 7名)

要 項	年 月 日	記 事
	25. 7. 4 ~ 5	名 寄 市 堀 主事 ・ 小 林 主事 (対象者 8名)
	25. 8. 27	岩見沢市 大 橋 主事 (対象者 1名)
	25. 9. 4	稚 内 市 三 上 主任 ・ 荒 木 主任 (対象者 1名)
	25. 9. 5	日高振興局 中 田 主事 (対象者 2名)
	25. 9. 12	空知総合振興局 清 水 主事 (対象者 2名)
	25. 9. 18	帯 広 市 尾 坂 係員 (対象者 1名)
	25. 9. 25	美 唄 市 加 藤 主任 (対象者 2名)
	25. 9. 30	十勝総合振興局 中 川 主事 (対象者 4名)
	25. 10. 8	白 石 区 白 川 主事 (対象者 5名)
	25. 10. 8	北 見 市 吉 田 主事 ・ 西 内 主事 (対象者 2名)
	25. 10. 18	富良野市 西 尾 係長 ・ 松 葉 主事 (対象者 2名)
	25. 10. 22	後志総合振興局 大 原 係長 (対象者 6名)
	25. 10. 31	オホーツク総合振興局 渡 辺 主任 (対象者 3名)
	25. 11. 14	室 蘭 市 池 田 主事 (対象者 1名)
	25. 11. 25	小 樽 市 樋 口 主事 (対象者 4名)
	25. 11. 26	石 狩 市 細 野 主査 ・ 新 居 主査 (対象者 1名)
	25. 11. 28	三 笠 市 大 原 係長 ・ 小 松 主事 (対象者 2名)
	25. 12. 2	石狩総合振興局 渋 谷 調査員 (対象者 1名)
	26. 1. 22	根室振興局 伊 藤 主任 (対象者 1名)
	26. 1. 27	名 寄 市 小 林 主事 (対象者 1名)
	26. 2. 10	胆振総合振興局 高 橋 主任 (対象者 2名)
	26. 3. 13	上川総合振興局 平 出 主任 ・ 明 石 主任 (対象者 4名)
6. 儀 礼	25. 5. 8	第94回 札幌明啓院創立記念 職員4名訪問
(1) 表 敬	25. 5. 10	第51回 札幌市あけぼの荘開設記念 出勤職員全員訪問
(2) 慰 問	25. 7. 28	北郷瑞穂町内会納涼夏祭り 職員2名・利用者3名
	25. 9. 1	第21回北翔祭(札幌あゆみの園) 出勤介護職員
	25. 9. 8	第16回光友園まつり 出勤介護職員・利用者
	25. 12. 5	草舞弦(そうぶげん) 楽器演奏と歌と踊り
7. そ の 他	25. 6. 6	深夜勤務者検診 18名
(1) 受 章	25. 8. 5	夜間想定検証制度
(2) そ の 他	25. 8. 20	慰霊祭(物故者法要)
	25. 9. 1	第18回全道救護施設職員スポレク大会(由仁町) 家久園長他5名
	25. 9	腰痛検診 9名
	25. 10. 31	生活習慣病予防健診 全職員
	25. 11~12	マンモグラフィ検診・子宮癌検診 18名
	25. 11. 30	札幌救護施設協議会スポレクボウリング大会・懇親会 22名
	25. 12. 13	札幌厚生会むつみ会総会 24名
	26. 1. 9	親睦会新年交礼会 26名

# 生活指導

高齢化に伴い、ADLの低下や障がいの重度化という実態があり、また、他法サービスが受けられない認知症などを患った高齢者や精神障がい者の入所が多くなっています。

利用者全員に共通し、健康の維持・管理が重要であると考え、疾病の早期発見、治療のための各種検診の充実を図ると共に、日常生活の中での変化を見逃さないよう、各職種間の連携を強めるよう努めてきました。精神面においても、日常の対話を重視し、特に精神的な障がいを持っている方に対しては、十分にコミュニケーションを図るようにし、施設生活への適応のために個別対応を図るようにしました。また、障がいや疾病により生活上の課題がある利用者に関しては、ひとつの医療機関だけではなく、疾病に関してより専門的な医療機関を受診し、処遇の方向性を確認していくようにも配慮しました。

個別ニーズへの対応のひとつとして全体の実施には至っていないが、全救協個別支援計画書の作成から、個人の希望を生かし、且つ満足感が得られるように情報収集と利用者との関わりを大切にし、実施に移してきました。

また、利用者が特に楽しみにしている「買物・外出の日」、「喫茶・売店の日」も例年通り実施しすることで利用者の生活意欲の助長につながっていたと感じました。

日課については、利用者の実態に合わせゆとりのあるものにしなが、作業、クラブ活動、レクリエーションの充実にも努め、リハビリ訓練については、年々参加者が増加しADLが低下しないよう、利用者自ら積極的に参加する姿が見られ、生活の一部として定着していると感じました。

地域との関係においては、開設記念行事等で近隣の高校生や大学生にボランティアとして参加していただき、地域での夏祭りにも施設が地域社会の一部であることを地域住民の方々に理解してもらえよう利用者として毎年参加しています。

処遇の維持向上を図るため、利用者が自らの希望を実現するために全救協個別支援計画書を活用し、関わりを持ち希望に向けて職員と一緒に実現に向けて実施してきました。

中でも、施設からの自立を目指す利用者には、今年度からの事業である「居宅訓練事業」を通して、より地域社会に近い形で訓練に取り組むことができ、利用者の可能性と生き生きとした姿が見られました。

緊急一時入所者の対応として、年度末には札幌市のホテル借り上げ事業により、利用者数が減少する時期もあったが、例年通りの人数の受け入れとなりました。近年では触法者などの利用も多くなってきており、より各実施機関との連携を強化し、より適切な対応や援助方法を検討していかなければならないと感じました。

## 1. 利用者ひとりひとりのニーズに基づいた生活を保障していく

健康で明るく生き甲斐の持てる生活を送ることができるよう、一人一人の身体的、精神的な状況把握に努め、作業参加や各クラブ活動への参加を促した。また、日常生活での自立を促す意味でも、自分で「できる」ということを大切に、本人の意思の尊重、努力への評価に配慮し、意欲の助長を促すよう努めました。高齢者や障がいの重い利用者に対しても、健康管理に十分配慮しながら、利用者同士、また、職員とのふれあいも生き甲斐のひとつであることから、日常生活の中での関わりを多く持つように努めました。

## 2. 個別指導

担当職員との関わりを重視しながら、個々の日常生活の把握に努め、本人との話し合いの場面を大切にしながらニーズに応じた援助を進めました。家族との交流については、広報誌「みちしば」の送付のほか、日常の中での電話連絡やハガキ・手紙の送付にも配慮し、交流を図った。ふるさと訪問は、自分の故郷にもう一度行ってみたい、親族に会いたい、墓参りに行きたい等の希望も含めて実施しました。親族と交流状況の良い利用者は一緒に行ってもらおうようにもしました。職員引率で実施したのは下記の通りであります。

①	7/ 5	滝川市	→ 家族への面会	S 氏
②	7/ 24	名寄市	→ 親族への面会	M 氏
③	8/ 14	三笠市	→ 姉宅訪問	H 氏
④	8/ 14	美唄市	→ 墓参り	T 氏
⑤	8/ 14	三笠市	→ 墓参り	S 氏

その他、利用者の希望があっても家族の受け入れが出来なかったり、逆に家族の了解があっても利用者の体調が悪かったりということで実現できなかった面もありました。

## 3. 個別支援計画

全救協による救護施設個別支援計画書への取り組みを進め、今年度は全利用者の支援内容の報告を実践に移して行ってきました。

重度の障がいのある利用者に関しては、施設サービスの充実を図ると共に利用者の希望を読み取り実践できるよう努めてきました。

居宅生活を目標にしている利用者に対しては、「居宅訓練事業」に参加することにより、より単身生活に近い状態で希望の実現に向けて取り組み、利用者の可能性を改めて感じることができました。

まだまだ全体の実施までには至っていないが、今後早急に全利用者に対して実践に移して行けるよう努め、希望・要望の実現に努めていきたいと考えております。

## 4. 作 業

今年度の作業も、従来の箸作業に加え、新箸作業の石狩鮭の作業と三つ折加工箸作業の3種類を行ってきました。新しい作業の参加人数も、多少は増えてきたようで、今後に期待が持てるようになってきました。今後も作業の重要性を理解してもらい、しっかりとした結果を残していきたいと思っております。

### 平成 25 年度作業実績

・総収入金額 287,450 円（平成 24 年度 287,450 円）

（内、旧作業分：78,975 円、新作業分：84,300 円）

・一人当たりの収入金額（平均）

旧作業分 1,794 円（参加者 45 名）

新作業分 2,408 円（参加者 35 名）

今年度は天候にも恵まれ、ミニトマト、キュウリを沢山収穫することができ、枝豆、とうきび、ニンジンについても予定していた量の収穫ができました。収穫物は甘味品や食事で提供していくことができました。逆にさくらんぼは鳥害に遭い、全く収穫ができませんでした。園生も畑作業に意欲的で、収穫時期だけではなく、日々の作業にも多くの園生が積極的に参加していました。来年度は今年度の反省を生かし、しっかりと準備をして畑作業に取り組み、園生の楽しみとなるような取り組みをしていきたいと考えております。

#### 平成 25 年度収穫

梅	0. 8 k g	アスパラ	0. 9 k g
キュウリ	3 2. 6 k g	大葉	3 1 0 枚
ミニトマト	4 1. 8 5 k g	トウキビ	1 1 5 本
白ブドウ	3 7 k g	黒ブドウ	2 4 k g

### 5. リハビリ訓練

今年度も昨年度同様の回数を行うことが出来た。器具の使い方や使用する順序を工夫しながら、限られた時間内で上手く実施することが出来ました。

年間実施回数 6 4 回 平均参加人数 1 7 名

柔道整復師の来園も 6 年が経過し、専門的な施術が必要な方に週 1 回ですが行っており、今後も継続していきたいと思えます。

年間実施回数 5 0 回 平均参加人数 7. 7 名

### 6. 防災体制

今年度は新しく非常用放送設備を導入し、火災時により迅速な対応ができる概ね計画通りに訓練を実施することが出来、訓練時における二次災害にも充分注意して行ってきたが、年々利用者の身体状況の重度化や高齢化という現状から、来年度は今年度の反省を踏まえ更なる防災体制の対応を考えていきたいと考えております。

防災設備に対しては年 2 回業者による点検を実施し、不備な点が判明した場合には、早急な対応のもと、修理等の適切な対応をしてきました。

#### 訓練実施状況

実施月日	訓練内容	備考
4月8日～19日	教育訓練	各部署ごとに実施（職員）
5月13日	総合訓練	日中想定・消火訓練含む
7月20日	避難訓練	夜間想定
8月5日	避難訓練	検証制度に基づく
9月17日	防災訓練	地震想定（昼食は非常食）

## 7. クラブ活動

利用者個々の能力や特性に合わせ、情緒の安定を図り、余暇活動に結びつくように配慮し、各クラブを実施してきた。決まった人だけが参加するのではなく、できるだけ多くの利用者が参加できるよう工夫して参加を促し、施設生活の中での楽しみになるよう努めました。練習の成果は、合同運動会や演芸会、新年会の地、慰問の時にも披露する機会を作りました。〔別記3〕

## 8. 自主的活動

お互い助け合いながら、また、自分たちの生活を主体的に送ることが大切であり、日常生活の中での様々な役割分担の他、全体集会や代表者会議等の進行に積極的にかかれるよう援助しました。また、ミニ集会やこうした各会議の中で、意見を発表し、相手の意見を聞くことでお互いを理解できるように働きかけました。大相撲星取りなどの余暇活動にも積極的に関れるよう援助し、パークゴルフも行いました。

## 9. 教養娯楽

利用者個々の希望が反映されるように個別レクを重視し、状況に応じての回数増を図って実施しました。また、全体行事でも利用者の希望を生かし選択できるように情報提供し、より多くの人に参加できるようにボランティアの協力を得て実施しました。一泊旅行も体力に合わせ、ゆとりを持って実施できるように3班に分けて実施した。地域の交流においても、合同夏祭りで町内会のよさこいチーム「舞花鈴」に踊りを披露して参加してもらい、慰問の機会も恒例となっています。

※各棟グループレク実施状況は〔別記2〕のとおりであります。

## 10. 給食

エネルギー量をはじめとし、各食事摂取基準は十分に満たされております。健康維持、生活習慣病、合併症の予防を図ることを目標とした献立作成及び食事提供に努め、食事療法を必要とする疾病者食の対応も調理職員の理解と協力をもって充実した食事提供ができました。

また、食中毒・食事故・給食の安全性についても、検収・検査・点検・管理を充分に行い、職員の衛生管理・各研修への出席等安全な食事提供に努めました。

利用者に食の楽しみを感じてもらうため、それぞれの季節の旬な食材・行事食行事カード、また、人それぞれの嗜好を考慮するために個別の献立をはじめとし、選択食・お楽しみ献立・誕生会の食卓での鍋料理の実施を行い、好評に終えることができました。

しかし、昨年度に引き続き、食材等々の震災や地球温暖化の影響による作物の不作やバイオ燃料化による物価の上昇に伴い、給食原材料の高値安定傾向が見られたが、給食費の増には繋がらないよう安い業者の開拓に努めかなりの減額にとどめる事が出来ました。

今後も嗜好調査を実施し、利用者へ個別の栄養指導（管理）を行い、より健康維持に務めて行きたいと考えております。

※利用者の食事状況は〔別記4〕のとおりです。

## 11. 嗜好品

利用者の嗜好を重視しながら、健康面への影響も考え、疾病誘因とならない低カロリー甘味料を使用した適当量の支給を努めた。今後も利用者の加齢、疾病に伴う嗜好品の提供に努めて行きたいと考えています。

## 1 2. 健康管理

利用者の高齢化に伴い、各種健診、施設内治療、日常生活の中で利用者の変化に気づき、早期対応・治療が行えました。今年度もラジオ体操・散歩の積極的参加を促してきました。今後車椅子・歩行器利用の利用者の方も気分転換を兼ねて積極的に参加させていきたいと感じました。インフルエンザ、ノロウイルスに関しては、早い時期にインフルエンザワクチン接種を行い、1日4回の施設内消毒、通年を通してのイソジンによるうがい、手洗いの励行を徹底し、結果罹患者の発生はなく未然防止につながったと感じております。

### 月別患者数

科別	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		内科	通院者数 ----- 延べ人数	91 182	77 154	68 136	62 124	76 152	84 168	80 160	76 152	64 128	71 142	80 160
精神科	通院者数 ----- 延べ人数	44 88	50 100	44 88	48 96	47 94	39 78	34 64	34 68	48 96	46 92	30 60	30 60	494 984
皮膚科	通院者数 ----- 延べ人数	28 35	28 35	39 40	47 50	25 32	26 47	24 47	35 47	24 47	31 49	24 48	25 54	356 531
外科	通院者数 ----- 延べ人数	2 2	1 1	1 1	2 2	2 2	1 1	3 3	2 2	2 3	1 1	1 1	1 1	19 20
整形外科	通院者数 ----- 延べ人数	13 23	19 35	16 26	17 25	16 24	19 132	20 38	10 27	11 28	17 31	16 24	16 25	190 438
歯科	通院者数 ----- 延べ人数	3 7	4 14	5 9	7 18	6 16	9 21	5 26	6 17	8 28	9 23	5 18	5 10	72 207
脳外科	通院者数 ----- 延べ人数	9 10	10 11	4 4	7 7	4 5	8 8	2 2	5 5	0 0	6 6	0 0	9 9	64 67
耳鼻科	通院者数 ----- 延べ人数	8 10	2 2	4 5	7 7	4 5	6 6	13 13	6 6	9 9	9 12	5 8	6 6	79 89
眼科	通院者数 ----- 延べ人数	9 10	10 10	15 16	13 15	12 12	9 9	11 11	1 1	19 19	9 17	5 5	5 5	118 130
循環器	通院者数 ----- 延べ人数	3 4	3 3	1 1	1 1	-- --	-- --	-- --	1 1	-- --	2 3	-- --	1 1	12 14
泌尿器科	通院者数 ----- 延べ人数	15 15	13 13	13 15	14 17	15 27	15 16	13 13	12 12	12 14	14 16	12 13	12 14	160 185
口腔外科	通院者数 ----- 延べ人数	-- --	-- --	-- --	-- --	1 1	1 1	2 2	1 1	1 1	-- --	-- --	1 1	7 7
呼吸器科	通院者数 ----- 延べ人数	-- --	-- --	-- --	1 1	-- --	-- --	-- --	3 3	2 2	-- --	1 1	1 1	8 8
乳腺外来	通院者数 ----- 延べ人数	-- --	1 1	-- --	1 1	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	2 2



## 主な年間行事実施状況（全体レク）

月 日	行 事 名	参 加 人 数	内 容
4.18	第33回 カラオケ交流会 (会場：静心寮) (司会：あけぼの荘)	出場者 6名 見学者 19名 職 員 6名	福祉園集会所に救護3施設の利用者が集まりました。各施設6名が出演し、自慢の歌を披露しました。最後は全員で合唱して閉会となり、久しぶりに仲間との再開を楽しむことができました。
6.19 20	一泊旅行 定山溪 ホテル・ミリオーネ	利用者 16名 職 員 7名	ホテルへ到着し、お部屋でゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。夕食はお座敷で豪華なお膳を美味しく頂き、良い気分転換になりました。またカラオケで盛り上がり、良い思い出になりました。最後は豊平峡ダムの観光を行い、もいわ山で昼食を食べて福祉園に戻りました。
6.29	白石福祉園夏祭り	全 員	単独で行う2回目の夏祭りでしたが、当日は地域の方々やボランティアの方々に来て大いに賑わいました。アトラクションはマジシャンの方が来て場を盛り上げてもらい、楽しいひと時を過ごせました。
7.10 11	一泊旅行 定山溪 ホテル・ミリオーネ	利用者 13名 職 員 6名	ホテルへ到着し、お部屋でゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。夕食はバイキングで、みなさん自分の好きな物を食べて、良い気分転換になりました。最後は白い恋人パークを見学し、中央卸市場で海鮮丼をいただいて、福祉園に戻りました。
8.14 15	合同仮装盆踊り 合同仮装盆踊り 合同花火大会	全 員	福祉園と静心寮の間にやぐらを立て、それを中心にみんなで盆踊りを踊りました。仮装盆踊りでは、施設ごとに仮装を楽しみ、その後、静心寮と合同で花火大会を行い、夏の夜風に当たりながら変わりゆく季節を感じました。
9.11	第13回 パークゴルフ大会 さとらんど	利用者 10名 職 員 3名	4つの救護施設でさとらんどに集まり、パークゴルフの腕を競い合いました。惜しくも優勝は逃しましたが、来年こそはと言い合いながら帰りました。
9.13	敬老会	全 員	70歳以上の方のお祝いで、今年は1名の方が新たに仲間入りをし、59名の方がお祝いを受けました。園長からお祝いの言葉を貰い、記念品の贈呈があり、敬老者の代表者からお礼の言葉がありました。
9.18 19	一泊旅行 定山溪 定山溪ビューホテル	利用者 9名 職 員 5名	本来であれば、小樽方面のホテルへ泊まる予定でしたが、今回はホテルが予約でなかったため、急きょホテルのみ定山溪となりました。変更にもかかわらず、みなさんお部屋でゆっくりされていました。夕食はバイキングで美味しく頂き、良い気分転換になりました。最後は小樽運河プラザ、田中酒造などを見学し、天狗山ロープウェイで昼食をいただき、福祉園に戻りました。
10.3	遠足 ユニガーデン	利用者 27名 職員 8名	四季を感じるために、由仁町にあるユニガーデンに遠足へ行きました。おいしいお弁当をいただき、園内巡回バスへ乗り、花や秋の風を感じる事が出来ました。

10.9 10	一泊旅行 洞爺 乃の風リゾート	利用者 5名 職員 2名	今回初の試みとなる、利用者さんの希望や意見を取り入れたマイプランを実施しました。 自分の行きたいところなどが盛り込まれた旅行に皆さん満足されていました。 バスではなく園ワゴンでの移動も良い思い出になり、最後はキッコーマンさんの工場見学で終わりました。
11.7	第 59 回開設記念行事	全 員	多くの訪問客が訪れ、大いににぎわいました。焼き鳥、飲物、喫茶コーナー、お寿司コーナーがあり、多くの訪問客や利用者が開設記念を祝っていました。
12.5	園内園芸鑑賞会	全 員	今年度も「草舞弦」の皆さんに来園していただき、日本舞踊や民謡を演奏していただきました。今年は「ニューヨーク」をイメージした内容で皆さん聞き惚れていました。
12.12	もちつき	全 員	玄関ポーチにて園生の手でもちつきを行いました。交代でもちをつき、暮れの季節感を味わいました。
12.19	クリスマス会	全 員	例年通り、カラオケ大会、音楽クラブによる発表、職員による出し物の仮装大会、サンタさんによるプレゼント、聖火隊による行進、クリスマスの食事と年に一度のお祝いを楽しみました。
1.9	新年会	全 員	カラオケ大会や舞踊クラブの演舞で正月のお祝いをしながら、お互いに今年もよろしくという気持ちで一緒に歌を歌ったりして挨拶を交わしました。
1.23	合同カルタ大会 福祉園	全 員	合同カルタ大会は福祉園での開催となりました。今年は「北海道弁カルタ」「地名カルタ」のジャンボカルタと百人一首で、おおいに盛り上がっていました。
2.3	節分	全 員	今年も集会室で年男・年女の方が元気良く豆撒きを行いました。豆まき終了後には年男・年女の方から皆さん一人ひとりに甘納豆を手渡しされ、美味しく頂くことができました。
2.13	園内ゲーム大会	全 員	園内のゲーム大会で福祉園独自の「福祉園カルタ」、職員が仕事の合間で作ったストラックアウトを行いました。また、ソチオリンピックの時期とも重なったので「カーリングゲーム」も新たに加わりました。どのコーナーも参加者が多数で、とても楽しんでいただくことができました。また、ゲーム終了後には、食堂で甘酒を味わいました。
3.6	日帰り外食 A 班 (シャトレゼ)	利用者 21名 職員 9名	恒例となっている食事レクに行ってきました。今回はバイキング形式で、色々なものを楽しみながら食事されていました。
3.13	日帰り外食 B 班 (シャトレゼ)	利用者 24名 職員 9名	2回目バイキング形式で、色々なものを楽しみながら食事されていました。
3.17	日帰り外食 C 班 (シャトレゼ)	利用者 30名 職員 10名	今回は会食形式で、普段とは違う雰囲気のなか緊張したのか、最初は静かに食事をされていました。次第に雰囲気にも慣れ段々と会話が弾み良い気分転換になりました。

## 選択レク・希望レク実施状況

(選択レク)

月 日	行 事 名	参 加 人 員	内 容
4.11	個別外食 とんでん森林公園店前	利用者 5名 職 員 3名	外食で和食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
4.15	個別ショッピング 厚別西友	利用者 4名 職 員 2名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
5.16	ショッピング 厚別西友	利用者 8名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
5.20	ショッピング 厚別西友	利用者 7名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
5.27	外 食（和食） とんでん森林公園店前	利用者 2名 職 員 2名	外食で和食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
5.30	外 食（中華） 中華レストラン暖流	利用者 3名 職 員 2名	外食で中華を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
6.10	出前	利用者 7名 職 員 4名	外出が難しい方を対象に施設内で出前を注文し、普段とは違う雰囲気の食事をとってもらいました。 豪華なお弁当が出てきて、楽しまれていました。
6.13	ショッピング (厚別西友)	利用者 8名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
6.17	外 食(和食) とんでん森林公園店前	利用者 9名 職 員 4名	外食で和食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
7.4	ショッピング 厚別西友	利用者 7名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.8	外 食(洋食) ガスト厚別西友店	利用者 3名 職 員 2名	外食で洋食を選ばれた方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
7.22	ショッピング 厚別西友	利用者 6名 職 員 3名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
8.12	ショッピング 厚別西友	利用者 10名 職 員 5名	ショッピングで厚別西友を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
8.19	ショッピング ジャスコ苗穂店	利用者 4名 職 員 2名	ショッピングでジャスコ東苗穂店を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。

9.5	ショッピング アリオ札幌	利用者 7名 職員 4名	ショッピングでアリオ札幌を選ばれた方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
-----	-----------------	-----------------	--

(希望レク)

月 日	行 事 名	参 加 人 員	内 容
5.15	中央区散策	利用者2名 職員1名	中央区を散策したいと希望された方で、札幌市の中央街を好きなところに見学に行ってきました。
6.10	ショッピング 新川イトーヨーカドー	利用者1名 職員1名	新川イトーヨーカドーと希望された方で、札幌市の中央街を好きなところに見学に行ってきました。
7.11	五木ひろしコンサート ニトリ文化ホール	利用者 2名 職員 1名	五木ひろしのコンサートを希望された方で、大きなホールで歌声などを楽しんでいただきました。
7.13	ディズニーオンアイス 月寒グリーンドーム	利用者1名 職員1名	ディズニーオンアイス希望された方で、寒い中でディズニーのダンスなどを堪能し、楽しんでいただきました。
7.15	野球観戦 札幌ドーム	利用者1名 職員1名	野球観戦を希望された方で、札幌ドームにて日本ハムファイターズとヤクルトスワローズの試合を見て、楽しんでいただきました。
7.18	バイキング ウエスタン北郷店	利用者8名 職員5名	バイキングを希望された方で、ウエスタン北郷店で和食・洋食・デザートなどの好きな物を食べ楽しんでいただきました。
8.8	外食（焼肉） 平和苑	利用者1名 職員1名	焼肉を希望された方で、平和苑に行き、好きな物を焼いて食べて楽しんでいただきました。
9.9	パークゴルフ サッポロさとらんど	利用者4名 職員2名	パークゴルフを希望された方で、さとらんどで体を動かし、楽しんでいただきました。また、さとらんど内で昼食をとり、園に帰りました。
9.12	ショッピング イーアス札幌店	利用者2名 職員2名	イーアス札幌でショッピングを希望された方で、自分の好きな物を買ったり、店内で昼食を食べ、楽しんでいただきました。
9.14	中央区散策	利用者1名 職員1名	中央区を散策したいと希望された方で、札幌市の中央街を好きなところに見学に行ってきました。
9.18	外食（洋食） ラパウザ厚別通店	利用者2名 職員2名	洋食を希望された方で、ラパウザに行き、好きな物を頼んで食べて楽しんでいただきました。
9.24	外食（和食） とんでん森林公園店前	利用者4名 職員3名	和食を希望された方で、とんでんに行き、好きな物を頼んで食べて楽しんでいただきました。
10.9	ケーキバイキング ジャスコ東苗穂店	利用者1名 職員1名	ケーキバイキングを希望された方で、ジャスコに行き、好きな物を取って食べて楽しんでいただきました。

10.10	ケーキバイキング 札幌グランドホテル	利用者1名 職員1名	ケーキバイキングを希望された方で、札幌グランドホテルに行き、好きな物を取って食べて楽しんでいただきました。
10.17	動物園見学 円山動物園	利用者1名 職員1名	動物園を散策したいと希望された方で、円山動物園に行き、好きなところに見学に行ってきました。
10.21	外食（寿司） すしてん	利用者6名 職員3名	寿司を希望された方で、すしてんに行き、好きな物を頼んで食べて楽しんでいただきました。
10.28	紅葉狩り 野幌森林公園	利用者1名 職員1名	紅葉狩りをしたいと希望された方で、野幌森林公園へ行き、好きなところに見学に行ってきました。
11.14	日帰り温泉 たまゆらの社	利用者4名 職員2名	日帰り温泉を希望された方で、たまゆらの社に行き、好きな温泉に入って楽しまれていました。
11.17	ショッピング 厚別西友	利用者1名 職員1名	厚別西友でショッピングを希望された方で、自分の好きな物を買ったり、店内で昼食を食べ、楽しんでいただきました。
11.18	ショッピング 東苗穂ジャスコ	利用者1名 職員1名	東苗穂ジャスコでショッピングを希望された方で、自分の好きな物を買ったり、店内で昼食を食べ、楽しんでいただきました。
11.25	外食（中華） 東苗穂ジャスコ	利用者3名 職員2名	中華を希望された方で、暖龍に行き、好きな物を頼んで食べて楽しんでいただきました。
11.28	外食（ラーメン） ラーメン居酒屋立花	利用者3名 職員2名	ラーメンを希望された方で、ラーメン居酒屋立花に行き、好きな物を頼んで食べて楽しんでいただきました。
12.9	外食（うどん） 麦の里菊水元町店	利用者3名 職員2名	うどんを希望された方で、麦の里に行き、好きな物を頼んで食べて楽しんでいただきました。
12.16	出前	利用者10名 職員4名	外出が難しい方を対象に施設内で出前を注文し、普段とは違う雰囲気の食事をとってもらいました。 豪華なお弁当が出てきて、楽しまれていました
12.21	出前	利用者2名 職員2名	外出が難しい方を対象に施設内で出前を注文し、普段とは違う雰囲気の食事をとってもらいました。 豪華なお弁当が出てきて、楽しまれていました
1.30	外食（和食） とんでん森林公園前店	利用者2名 職員1名	和食を希望された方で、とんでんに行き、好きな物を頼んで食べて楽しんでいただきました。

【別記3】

ク ラ ブ の 実 施 状 況

クラブ	参加人員		実 施 経 過 と 効 果
	使用者	職 員	
習 字	15	3	<p>多くの方が習字に参加され、展示された自分の作品を見て、満足されていました。また、一定のメンバー以外にも声をかけて参加を促しながら進めていきました。七夕の短冊を習字で書くことが出来なかったが、今回初めて色筆ペンを使用し、珍しかったのか楽しみながら習字を提供することが出来ました。</p> <p>来年度は、一年の抱負を正月に書いてもらおうと考えています。</p>
舞 踊	3	3	<p>今年度は「おとこの潮路」を講師の方に教えていただき、合同演芸会の披露に向けて練習しました。また、園内でも信宴会に披露し、皆さん位楽しんでいただくことができました。3月日は講師の方とお別れ会をしました。</p>
手 芸	7	3	<p>個々のペースに合わせ、楽しみながら編み物や刺し子を行いました。出来上がった作品は開設記念行事の中でブースを作り、来ていただいたお客さんに見てもらいました。</p>
音 楽	7	4	<p>合同演芸会、クリスマス演芸会の発表に向けて、「いい湯だな」の歌の練習、振り付けの練習を4月から12月まで行いました。1、2月は自分の好きな音楽を聴く音楽鑑賞、3月は1年間の反省と今後の要望を話し合いました。</p>
生 花	6	3	<p>季節に合わせた生花を、先生の指導の下、楽しみながら生けた。作品は、園長室、玄関、玄関ホール、食堂、集会室に飾り鑑賞した。</p>
自 由	20	2	<p>今年度は、自由に園生が楽しめるように、塗り絵をする人、ビーズをする人に別れ、また音楽などを流しながら雰囲気づくりを重要視して取り組みました。</p> <p>二ヶ月に一回音楽療法の講師を招いて、音楽を用いての日常の楽しみが持てるように取り組みました。</p>
四つ葉の集い	2	2	<p>各施設の参加者の希望を聞きながら実施しました。車で公園などの公共施設や、施設屋外での活動と、他施設の情報交換や交流を通じて視力障害のある人の励みの場となるよう取り組みました。</p>

[別記4]

## 利用者の給食状況調

平成25年度  
入園者 平均98名(緊急、検食、保存食含)

区分 月別	エネルギー	蛋白質		脂肪 エネルギー比(%)	1人1日当り 平均価格 (消費税含む) (円)
		蛋白質(g)	動物蛋白比(%)		
4	1,810	73.9	53.9	23.3	828
5	1,843	72.2	51.4	23.9	780
6	1,854	73.4	51.6	24.1	728
7	1,798	69.2	52.0	22.9	794
8	1,829	71.6	53.6	22.6	742
9	1,836	74.2	51.3	23.5	808
10	1,839	71.8	52.8	23.3	748
11	1,849	72.4	52.5	23.7	797
12	1,839	76.5	54.5	23.5	845
1	1,847	73.0	52.1	22.7	797
2	1,828	74.6	52.3	23.1	970
3	1,831	73.0	52.9	23.0	876
平均 (1ヶ月)	1,834	73.0	52.6	23.3	809.42
基準値	1,700	60.0	40~50	15~25	920

[別記5]

主 な 実 施 事 項

年 月	実 施 機 関	実 施 内 容	備 考
25.4	当 園	定期健診（利用者全員）  血圧・体重測定	血圧高めにて毎日1人測定 低体重にて食事量増 4名 毎月曜日1名(血圧) 毎火曜日3名 毎水曜日4名 月2回4名(血圧) 体重増にて食事減る 1名毎金曜日4人(血圧) 体重測定週1回2名・週2回1名
25.4	対 癌 協 会	胃・大腸癌検診  男子：40名 女子：45名	1名 胃要精検施行 ・萎縮性胃炎・びらん性胃炎(センチュリー病院) 1名大腸要精検施行 ・検便再検し問題なし
25.4 25.5	広 川 内 科 ク リ ニ ッ ク	腹部エコー検査  男子：40名 女子：47名	12名 腎のう胞→経過観察 7名 胆石→経過観察 1名 肝内石灰化→経過観察 1名 肝脂肪→経過観察 1名 水腎症→経過観察 1名 肝血管腫→経過観察 5名 肝のう胞→経過観察
25.6	白 石 中 央 病 院	乳癌検診：30名	30名 異常なし
25.7	対 癌 協 会	乳 癌：14名 子宮癌：14名	乳癌検診 14名→異常なし 子宮癌検診14名→異常なし
25.7	結 核 予 防 会	胸部X-P（間接撮影）  男子：35名 女子：37名	・6名 要精検施行（広川内科クリニック） 再検査の結果→4名異常なし ・1名結核疑い（呼吸器）入院し結核菌塗末(-) ・1名肺結核疑い（呼吸器）非結核菌薬内服中
26.2	広 川 内 科 ク リ ニ ッ ク	肺炎球菌ワクチン接種（80歳以上） 男子： 3名 女子：2名	
25.10	当 園	定期健診（利用者全員）  血圧・体重測定	血圧測定月曜日1名火曜日4名水曜日4名 金曜日3名 月2回4名 1名体重増にて食事療法（205g） 低体重にてエンシュワ開始
25.11	当 園	インフルエンザ予防接種	罹患者なし。



## 利用者の状況（措置人員）

(H26. 3. 31 現在)

定員	現在員			
	男性	女性	計	充足率
100人	48人	50人	98人	98%

### 月別人員状況（平成 25 年度）

月別 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		月初日人員	98	99	97	97	97	98	99	97	94	95	95	98
入所			2		1						2		1	6
自己退所											1			1
居宅保護			1											1
長期入院による退所				1			1							2
他施設異動														0
死亡	1	1							1					3
一時保護	入所	2	2	3	2	3	1	1	0	2	0	3	2	21
	退所	0	2	3	2	3	1	1	2	1	1	1	2	19
月末現在員	99	97	97	97	98	97	97	97	94	95	95	97	98	年間平均 96.8

※は緊急入所からの正式入所

### 在所期間の状況

(H26. 3. 31 現在)

性別 期間	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	計 (人)	平均在所 期間
	男性	6	7	7	9	5	6	8	48
女性	1	0	3	6	5	1	34	50	30年2ヵ月
計(人)	7	7	10	15	10	7	42	98	21年7ヵ月
割合(%)	7.1	7.1	10.2	15.3	10.2	7.1	42.9	100	小数点第二位を 四捨五入

利用者年齢状況

(H26. 3. 31 現在)

年 齢 性 別	30 歳 未 満	30 歳 以 上 40 歳 未 満	40 歳 以 上 50 歳 未 満	50 歳 以 上 60 歳 未 満	60 歳 以 上 65 歳 未 満	65 歳 以 上 70 歳 未 満	70 歳 以 上 75 歳 未 満	75 歳 以 上	計	最高	最低	平均 年 齢
	男性	0	1	2	6	7	12	5	15	48	88 歳	30 歳
女性	0	0	1	1	2	6	9	31	50	97 歳	49 歳	76.3 歳
計	0	1	3	7	9	18	14	46	98	総平均 年 齢		72.3 歳
割合(%)	0	1.0	3.0	7.1	9.2	18.4	14.3	46.9	100			

障がい・男女程度別調査

(H26. 3. 31 現在)

障がい別	程 度	男 性 (人)	女 性 (人)	計 (人)
身 体 障 が い	重 度	2	1	3
	中 度	6	1	7
	軽 度	0	0	0 (10)
知 的 障 が い	重 度	3	14	17
	中 度	3	3	6
	軽 度	2	0	2 (25)
重 複 障 が い	重 度	3	12	15
	中 度	5	2	7
	軽 度	2	1	3 (25)
精 神 障 が い	重 度	3	3	6
	中 度	9	6	15
	軽 度	4	4	8 (29)
そ の 他	中 度	0	0	0
	軽 度	6	3	9 (9)
合 計 (人)		48	50	98

※ 従来の合併障がいという分類を（精神障がいの重複を含め）重複障がいとする。

(重度障がい 41 名、中度障がい 35 名、軽度障がい 22 名)

障がい別調査

(H26. 3. 31 現在)

病 名 性 別	身 体 障 が い		知 的 障 が い	精 神 障 が い	重 複	そ の 他	計 (人)
	視 覚	肢 体 不 自 由					
男性	2	6	8	16	10	6	45
女性	1	1	17	13	15	3	53
計 (人)	3	7	25	29	25	9	98
割合(%)	3.1	7.1	25.5	29.6	25.5	9.2	100

障がい者手帳保持者の状況

(H26. 3. 31 現在)

身体障がい者手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計 18名
	6	6	3	2	0	1	
療育手帳	A 10		B 12		B 0		計 22名
精神障がい者保健福祉手帳	1級	5	2級	17	3級	2	計 24名

年金の受給状況

(H26. 3. 31 現在)

種別	障がい基礎年金	老齢基礎年金	障がい厚生年金	老齢厚生年金	老齢基礎 老齢厚生 両方受給	恩給 その他	計
人員	52	5	0	7	0	3	67

利用者の親族等の状況

(H26. 3. 31 現在)

1	2	3	4	5	6	7	8	計
配偶者あり	親あり	子供養子を含むあり	兄弟姉妹あり	1～4以外の親族あり	知人のみ	身寄りなし	不明	(人)
2	3	18	75	20	3	3	0	124

出身世帯との連携状況

(平成 25 年度)

項目	回数					計 (人)
	年 0 回	年 1 回	年 2 回 ～ 5 回	年 6 回 ～ 11 回	年 12 回 以上	
出身世帯の面会状況	78	7	13	0	0	98
出身世帯への状況報告	75	9	13	1	0	98
出身世帯からの通信	84	9	4	1	0	98
外泊の状況	95	1	1	1	0	98

疾病別調査(重複含む)

(H25.4.1~H26.3.31)

内 科	人数	精 神 科	人数	そ の 他	人数
高血圧+その他	27	統合失調症	22	皮膚科	46
糖尿病+その他	12	興奮性知的	4	眼科(白内障含む)	45
消化器疾患	47	てんかん	15	泌尿器科	28
心疾患	8	知的障がい	35	外科及び整形	41
高脂血症	24	認知症	13	耳鼻科	13
呼吸器疾患	19			脳外科	31
そ の 他	21	そ の 他	29	そ の 他	32

入院状況(医療機関の変更や重複者も含む)

(H25年度)

内科	外科	整形外科	精神科	脳外科	眼科	泌尿科	肛門科	耳鼻科	循環器科	呼吸器科	乳腺外科
13	1	3	7	1	0	0	0	0	1	2	0

日常生活調査(ADL状況より)

(H26.3.31現在)

区分	歩行			食事			入浴			着衣			排泄										
	自力歩行	杖等の歩行補助器使用	車椅子使用	歩行不能	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	昼間				夜間			おむつ使用		
														トイレ				おむつ使用	トイレ				
														自分で可能	一部介助	全介助	車椅子使用		自分で可能	一部介助		全介助	車椅子使用
実数(人)	77	8	13	(13)	93	3	2	53	30	15	80	10	8	81	9	8	(12)	17	75	9	14	(12)	17
割合(%)	78.6	8.2	13.3		94.9	3.1	2.0	54.1	30.6	15.3	81.6	10.2	8.2	82.7	9.2	8.2		17.3	76.5	9.2	14.3		17.3

## 実施機関別人員調（措置人員）

（H26. 3. 31 現在）

各市別人員				各支庁別人員			
実施機関名	男	女	計	実施機関名	男	女	計
札幌市	20	9	29	後志総合振興局	3	3	6
小樽市	1	3	4	空知総合振興局	1	1	2
旭川市	2	3	5	上川総合振興局	1	3	4
室蘭市	0	1	1	留萌振興局	0	1	1
釧路市	1	0	1	オホーツク総合振興局	0	2	2
北見市	0	2	2	胆振総合振興局	1	1	2
夕張市	1	1	2	日高振興局	0	2	2
岩見沢市	0	1	1	十勝総合振興局	1	3	4
紋別市	1	0	1	根室振興局	0	1	1
美唄市	1	1	2	石狩振興局	1	0	1
三笠市	2	3	5	釧路総合振興局	1	0	1
名寄市	4	6	10				
富良野市	0	2	2				
帯広市	1	0	1				
千歳市	3	0	3				
稚内市	1	0	1				
石狩市	0	1	1				
江別市	1	0	1				
				小計（人）	9	17	26
小計（人）	39	33	72	合計（人）	48	50	98

# 基本理念及び基本方針

救護施設 白石福祉園

## 《私達の基本的な考え方》

